



若鷹だより

高山市立荘川中学校
平成29年5月

荘川町一斉清掃 5月16日(火)

今年は、とてもよい天気恵まれ、絶好の掃除日和でした。生徒の皆さんが、地域の方々と一緒に、保育園児や小学生児童の安全に留意しながら、道路脇の煙草の吸い殻、空き缶、ビニールごみなどを見つけて拾ったり、それらのごみを分別したりして一生懸命取り組めていました。

掃除の後、各地域の秋葉様に一年の無事や五穀豊穡、家内安全、進路実現などを願い参拝しました。玉串奉奠を任せられ地域の方々と共にいった生徒もあり、堂々とやり遂げる姿に頼もしさを感じました。参拝の後は各公民館で、労をねぎらい合う「なおりい」が行われたところが多く、町内の小さい子からお年寄りまでが一堂に会し、楽しい時間を過ごすことができました。荘川ならではの行事をどなたもとても大切にされていて、地域の強い絆を垣間見ることができました。本当にお疲れ様でした。



地域と共に～参加することが一番の協力～

校長 岡本 昌昭

13日(土)の資源リサイクル、雨の中、ご協力、ありがとうございました。児童生徒の減少にともないPTA会員数も年々減少しています。よって、資源リサイクルによる収益金は、PTA会計を支える大事なものでもあります。地域の方の協力や地区委員を中心とする回収作業、そこに児童生徒の手伝いもあります。また、本部でのトラックへの積み込みなどを保護者や学校職員がしていると、全校生徒が次々に手伝いに来てくれています。

16日(火)の町内一斉清掃、晴天の中、児童生徒や学校職員も参加させていただきました。児童生徒は、平日の参加ということで授業扱いとなります。机の上の勉強だけでなく、地域の方々と共に身体を動かし汗を流しつつ、郷土を大切にすることを育んでいきます。地域の方々の中には、仕事を休んで参加している方も多数みえます。半日、地域の方々と共に汗を流し、地域をきれいにする。毎年、地区ごとに清掃するエリアは変わらないと思いますが、少子高齢化にともない参加人数が減り、参加者の年齢が上がっていき、たいへんになってきていると思います。道路や歩道周辺のゴミ拾いをする方々。歩道の泥や草、落ち葉等を竹ぼうきではいたり、ツルハシで起こしたりスコップでさらえて一輪車に入れたりする方々。これらを小さな子どもからお年寄りまで、分担してやってみえます。

都市部では、ともすると地域のつながりが希薄で、清掃行事等にも参加されない方も結構いるという話も聞いたことがあります。にもかかわらず、荘川の方々は、毎年、当たり前のようにみんなが参加し、みんなで協力して清掃活動を行っています。少人数にもかかわらず、広範囲を長時間にわたって清掃活動をしているのです。

こうして、荘川子どもたちは、知らず知らずのうちに地域と方々と共に、協力して活動していくことが当たり前になる心も育ってきていると思います。